

樁ビニール・清洲工場新設!!

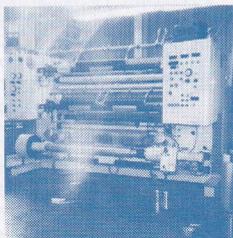
～最大1450mm巾・最小10mm巾もO.K.～
最大原反重量2000kgでも大丈夫!

【スリッター機の紹介】

《1号機》

1. 基 材……PVC軟質、半軟質、硬質OPP、PO
不織布、紙、各種フィルム
2. 原反巾……最大巾1400mm、最小巾100mm
3. 巻取径……⓪400φ Ⓣ400φ
4. 紙 管
3インチ～2インチ対応
5. 丸刃でのカット巾
最大巾1400mm
最小巾25mm

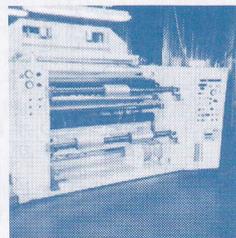
6. 粉振り装置
特徴：コンピューター付き張力
制御機能により一定張力
の巻き上げが可能。又、
ラインセンサー機能によ
る印刷物にも対応。



《2号機》

1. 基 材……対応は1号機と同じ
2. 原反巾……最大巾1450mm、最小巾100mm
3. 巻取径……⓪500φ Ⓣ470φ
4. 紙 管……3インチ～2インチ対応
5. 丸刃、レザー刃カット巾
最大巾1450mm
最小巾30mm
6. 粉振り装置
7. フリー下刃

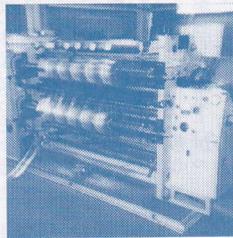
特徴：マスターロール対応装置付、
最大重量2000kg。



《3号機》

1. 基 材……PVC軟質、紙、OPP
2. 原反巾……1370mm
3. 巻取径……400φ
4. 丸刃、レザー刃カット巾
最大巾1370mm
最小巾10mm
5. LPC（生地の蛇行調整
装置）付

特徴：巻取自動変速はぼ一定の
スリップ量になる様、自
動調整機付。



あらゆるニーズに対応できるように各機種3台
特徴を生かし、又、松井さんをはじめ優秀な社員
が貴方の注文をお待ちしております。

横山 敏秋

モーリンググループ 樁ビニール(株)清洲工場

〒452-0932 愛知県西春日井郡清洲町大字朝日字愛宕88番地
TEL (052) 400-2822 FAX (052) 400-2823

『リサイクル』

国も名古屋市も、ゴミ減量化に必死です。名古屋市民1人が1日に出すゴミが900gもある（全国平均より多い量）。ゴミを100g減らそうと「減量100作戦」を展開中。来年4月より「容器・包装リサイクル法」が施行され、森松の商売にも大きく影響を受ける事になります。主力商品の塩ビは40年も昔から再利用、リサイクルに貢献している。商売的にフォロワーの風が吹く予想も業界内では出ています。

先日も大阪の金子商店さんより持ち込まれた再生ビニールは、我社の要工場より排出されたスクラップを再利用した、たいへんユニークな再生ビニールシートで今後期待される商品です。皆で再生生活のアイディアを出して行けばきっとおもしろい製品が生み出される事でしょう。分別回収を広げ繰り返しリサイクルを続けて行けば、ゴミ減量化にも役立ち環境問題も良い方向へ向かうのではないでしょうか。

今後、オフィスや工場内で不要になった備品や設備も再利用できる様、情報交換出来るシステムが構築出来れば会社内で眠っているパソコンや家電製品、工作機械、事務用機器も生き返る。そこに新しいビジネスが生まれると思う。

まずもって会社からゴミを出さない様にして再資源化を考えよう。森信之

森松トリオ

『WHY』

森松の社員は全員丸暗記している、という「モーリン語録」というものがあります。表紙には「WHY」という文字が印字してある。その下には「わかかったふりはやめなさい」と小さくある。これについては社員の皆さんは十分理解していると思いますのであえて深く説明はしません。最近ちょっと思ったことを書いてみようと思います。

それは「なぜ」という疑問を持つのは決して自分の外に対してだけではないんだな」という事。つまり、相手に対して発する「なぜ？」という質問形式が一般的ですが、それと同じくらいの回数、いやそれ以上に多くの回数を自分に対して「なぜ？」と自問自答すべきなんだろうなあ、という事です。

自分に対して発する「なぜ？」というのは反省の意味は有るけれど「後悔」という意味ではありません。

「なぜ、あの時、自分はその様にしなかったか。」というこの原因を考え、結果と照らし合わせることで、次のステップへと段階を踏んで進む事が出来るのではないかと感じました。

実はこれは最近数年ぶりにやり始めたゴルフの練習をしながら感じた事なんです。

つまり「なぜ、なぜ」と言って興味を持って、いろいろな人に聞くなり、本を読むなりして、理論的には頭の中で理解出来たとしても、なかなか思うようにはいかない。それに理論という物は人によって多種多様でどれがいいのか：なんて事もある。

結果「なぜ、自分はその通りにアクション出来ないのだろうか」「自分合った理論とはどれなんだろう。」と自問自答を繰り返しながら、ため息まじりに素振りを繰り返すことになるのです。

「なぜ、なぜ、なぜ」で今日は250回も「なぜ」をしてみたら、なんとこれになっちゃった。

物事を頭で理解する為の「なぜ」、自分を見詰め直す為の「なぜ」をバランスよく継続して、皆で100を切りましょう。



牧野光昌

WHY?

喜怒哀楽

『日曜大工』

私が今、ハマっているのが日曜大工です。きっかけは、家内と始めたガーデンニング。(まだレンガを並べた花壇程度なんですけどね...)オシャレな庭づくりを目指して、ヒマさえあれば園芸ショップへ通っております。草木や花は勿論のことですが、それらを引立てる、プランターカバーやラティス、枕木などの木製品も色々欲しくなります。しかし、これが結構、高い。そう簡単には手が出せない。

そんなある日、「よし、これくらいの物なら自分で作ってみよう」それが私の日曜大工の始まりです。もともと子供の頃から図画工作だけは得意でしたから、早速チャレンジ。ギコギコ、ガリガリ、トントん。当初、家族は半信半疑。近所の人にもひやかされながらも、出来上がったのはパレットを改造した「踏み台」。仕上げに子供達とペンキ塗りをして、ついに完成。家族から「お、お父さん、凄い」思わず「エッヘン」。嬉しくなって調子に乗り次に作ったのがプランターカバー。この調子で今後、作ってみたい物は、木製フェンス、小さな物置、ラティスなど……。自分の想像の中で夢が大きく膨れ上がっています。

しかし、作って見たものの思ったより大変でした。ノコギリの作業も案外体力を使います。やはり、便利な道具が欲しくなります。そこでホームセンターへ行ってみると、色々あるものですね電動工具類が。(ノコにジグソー、カんなにドリルなど)欲しいものばかりです。除々に揃えてゆきたいと思いますが、当初のオシャレな庭づくりのガーデンングから、今では物づくりの日曜大工の方が楽しくなっちゃいました。

まあ、物によっては道具を揃えて作るより、初めから買った方が安くつくかもしれませんけど……?



安井ファミリー

安井浩二

暮らしたのエッセイ

『車椅子』

今年のゴールデンウィーク(5月1・2日)に越前海岸の方に家族3人、義母、義妹の5人で本当に久しぶりの一泊旅行してきました。義母は89歳で、最近足腰がとて弱ってきていましたので少し心配でしたが、娘が車椅子を借りてきてくれましたので思い切って行くことにしました。1日目は東尋坊まで行きましたが道路もスムーズに走れ、東尋坊に着いてからも車椅子のおかげで義母も疲れることなく海岸まで行く事が出来ました。2日目は永平寺まで足を延ばし参拝してきましたが、ここでも車椅子が大活躍。それに思ったのですが、車椅子が中に何か置いてあり、借りる事が出来ました。

そして若い修行僧(23才)の方が義母の為に私たち5人だけに付きっきりとなり、色々細かく説明をしながら案内してくれまして、普段は使用しないエレベーターにも乗せてもらい、階段のところに来れば義母を乗せた車椅子を私と一緒に持ち上げてくれました。何度も階段の上り下りを繰り返して修行僧の方も疲れたことと思いますが、そんな素振りも一切見せず本当に感じの良い対応に、義母も持ち上げて貰うたびに手を合わせ何度も涙を流しながら「ありがと、ありがと」を繰り返していました。修行僧の方は永平寺に来てまだ3ヶ月だそうですが、良く勉強され良いお坊さんになれることでしょう。え、きっと将来は良いお坊さんになられることでしょう。帰りは交通渋滞に合い家に着く迄10時間位かかってしまいました。義母もかなり疲れていましたが、良い体験が出来たことに本当に喜んでいましたので、少しは親孝行出来たかなと思っております。車椅子のおかげという人の優しさや思いやりを色々な場所でも感じたいな旅行でした。年を取って足腰が弱っても出掛けることは楽しいこと、これからも車椅子を積んで出掛けようと思っております。



坪井秀夫

春期読後感

「お金のことでくよくよするな！」

リチャード・カールソン著

一読した感想としては、このシリーズの基盤として著者が言いたいのは「自分」の考え方で自分を呪縛するなということだと感じた。

印象深かったのは、ステーキを売るのではなくジュージュー音を売るという項目。周囲の娯楽・フィットネス・公園設備などが充実しているけれど、販売率も設備利用率も低い素敵なマンションを引き合いに出して、ステーキ（マンション）を売るのではなくジュージュー音（周辺環境の素晴らしさ）を売るという発想のことが書かれてあった。

「品質」を語る上で、そういった周辺のことをたいへん大きなウェイトを占めるのだということを知りたいのだろう。「モノ自体」がすばらしくても周辺のことを品質印象を高めたり、逆に下げてしまったりする。売れない時期にこそ、モノ周辺が作り出す総合品質が重要だと再認識した。

変化を拒めば、うまくいっても既得の範囲内しか得られず、それまで以上のものを獲得したいならば、自ら変化をおこさなければならぬことも書かれている。

そこを読んでいて思い出すのは、イトーヨーカドーの変革のひとこま。

以前のイトーヨーカドーでは、天ぷら惣菜を昼前迄に十分な数量を作りだめしておき、昼時には調理員も含めて全従業員が売場に出て、客に売込みの掛け声を掛けて、いつもしっかり「完売」して、高効率を保っていた。しかし鈴木敏文（現社長）は、その現場で猛烈に怒った。（なぜでしょう）

答え：昼時のいちばん売れるときに、しなしなの古い天ぷらを全員でよってたかってお客様に無理矢理売込むとはなにぞか！
変革：客を買う気にさせよう！

バリバリの揚げたてを一度に大量に出すために、調理スペースを拡大し、もっとも量の必要な昼時・夕方に揚げる。天ぷらを揚げるときの音を天ぷらコーナーでスピーカーから店内に流し、販売員の掛け声は「まもなくかき揚げ 揚げりまーす！」などの案内項目にした。結果、昼と夕方の惣菜ピークタイムの売上は3倍増になった。

しかし：この方法を導入しても、売上の上がらない店はあった。従業員に「その気（変化を自ら起こす気）」がなかった店は、方法だけを強いられた形になり、懸命さがなく、ハ

キハキしない従業員には、客も反応しなかった。客を買う気（その気）にできなかった。

「なにごとにも自分次第」ということが、よく認識できた本だった。

著者のリチャード・カールソンは確か36歳。職業はストレスコンサルタント。日本では心理学者、精神科医ぐらいしか分類を聞いたことがないと思うが、ストレスのスペシャリストを職業と名乗るほど、アメリカでは細分化されているのだろうか。



西口悦史

「五体不満足」を読んで

著者／乙武洋匡

著者は、手足が短いという「特長」を持って生まれ、一般に考えられている身体障がい者のイメージとは逆に、明るく生き生きと過ごしています。どうやって障がいを乗り越えたのか、その秘訣を知りたくてこの本を読みましたが、驚いたのは、著者はほとんど自分が障がいを持っていることを卑下せずに過ごしてきたということです。著者が生まれた時、手足のない彼を見て母親が「かわいい」と言って抱きしめたというエピソードがありますが、これが彼の自信につながっているのだと思います。

著者は、小さい頃から学校という社会の中で、常に自分にできること、不可能なこと、注意すべきことは何かなどを考えてきました。そして大学生である今、今後自分がやるべきことをしっかりと掴んでいます。

私がこの本から学んだことは、自分のできないこと、自分がないものを挙げて卑下するのではなく、自分の特長は何か、自分にしかできないことは何かを考えて前向きに生きるということです。

また、世間では身体障がいの人に接する機会があまりないため、つい同情をこめた目で見てしまいがちですが、よほど身体障がい者＝弱者と見てしまう健常者の方が、つまらないことにこだわったり悩んだりしているのではないかと思います。

身体障がいの人たちが、この本をきっかけに人目を気にせずどんどん街に出てくれるといいと思います。同時に、健常者は自分の方が優れているというおごった考えを起さず、自然に手を貸せるような社会になるといいと思います。



小沢由紀子

上海的生活

先日、相互学習（家庭教師の様なもの）の相手の復旦大学2年の尤（ヨウ）さんと浦東新区へ行ってきました。上海は黄浦江という川が西端から北の長江へと流れ、この川が上海を二分しています。つまり、浦東と上海の黄浦江より東側を指します。ここ十数年浦東は開発されておりあの東方明珠塔を始めとして多くの企業や銀行も次々とこちらにできています。上海に来たら必ず訪れる事になると思うので細かい紹介はおいといて、最近の世界で3番目に高いというビル金茂大廈も完成し、私たちはそこへと向かいました。88階建て340mの展望台はなかなかの眺めです。そして八百伴（ヤオハン）へと移動し、昼食を食べましたが休日だけに本当に多くの人が出です。（ちなみに日本料理は高かったので食べられませんでした。）

休日の行楽地は元々人口の多い中国なせいなどもたくさんの人で、家族連れで遊びに来ている姿を見ると今の中国が本場に成長している事を肌で感じます。（全てがそうではないですが）

最後はバスで浦西の人民広場に移動し筆談も交えながら尤さんと話をしましたが改革、解放前の中国は非常に物が少なく、買うことの出来る量が制限されていた事、また、今の発展の基となった鄧小平の話など、実際にその発展の成果を目の前にして聞くのはとても感慨深かったです。これからも経済的成長を続ける途上に多くの問題もある事は確かですが、5年後、10年後も今と同じような景色かそれ以上のもが見れるようにと思えます。それに、デスクマットももっと売れますように……でしようか？

森直樹

1999年6月の行事予定

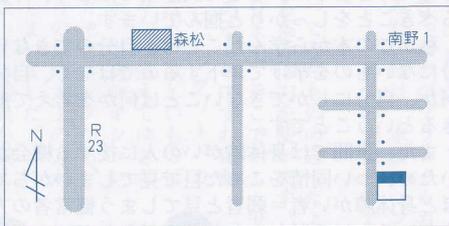
29日(火)	丹後球場 18時30分	26日(土)	造集団 佐久島マシット ベースボール	23日(水)	経営会議 17時 第四土曜日休み	21日(月)	生産会議 17時40分 営業会議 15時10分	19日(土)	パソコン委員会 18時30分	17日(木)	テニス 丹後公園 18時	16日(水)	改善会議 18時 大橋さん誕生日	15日(火)	編集会議 17時45分	13日(日)	海外出張出発 浅見さん誕生日	12日(土)	第二土曜日休み 田井村さん誕生日	11日(金)	テニス 丹後公園 18時30分	9日(水)	G・P市川印刷 16時 菱和会 鈴峰C・C	8日(火)	丹後球場 18時30分 ベースボール	7日(月)	誕生会	5日(土)	第一土曜日休み 服部さん誕生日	3日(木)	時局社 18時30分 服部さん誕生日	1日(火)	鎌田会 愛知C・C
--------	----------------	--------	-----------------------	--------	---------------------	--------	----------------------------	--------	-------------------	--------	-----------------	--------	---------------------	--------	-------------	--------	-------------------	--------	---------------------	--------	--------------------	-------	--------------------------	-------	-----------------------	-------	-----	-------	--------------------	-------	-----------------------	-------	-----------

営業さんのおすすめランチ

お店の名前：天津楼

お店の住所：南区南野3-223-7

MAP:



おすすめ MENU & Price:

ランチ (昼のみ)

チャーハン/ラーメン 700円

コメント：月曜日 休日

12:10には、常連客にて満席になります。ランチ以外のおすすめが、天津飯/ 美味しいですよ。

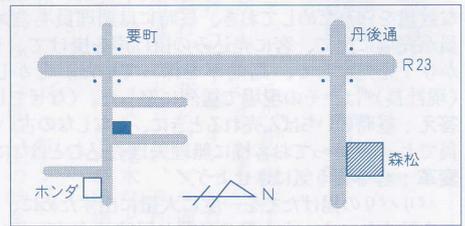


光田 昭男

お店の名前：長崎ちゃんぽん はがくれ飯店

お店の住所：南区鳴尾車庫前

MAP:



おすすめ MENU & Price:

チャンポン定食 700円

皿うどん (チャーメン) 750円(坂本氏すいせん)

コメント：20席程度で中はあまりきれいとはいえないが、会社の近くでチャンポンが食べたいとなるとよく行きます。野菜がいっぱい、トンコツスープはけっこういけますよ。(ゴハンもドンブリで) 坂本君のおすすめは皿うどんです。大盛をいつも食べています。



吉岡 孝記



石川 知恵

います。

森松の社員になりました半年が過ぎました。あつという間のような長かったような半年でした。社員になりいろいろ教えて頂く事もあり、いろいろ経験することも出来ました。その経験の中で社員旅行委員というものが一番良い経験になったと思います。毎年社員旅行には参加していたのですが、今回は旅行委員という事で行き先のアンケートとその集計をしたり、持ちよつた意見を議論しあつたりなど幹事を中心に何ヶ月もかけて決めてきました。その結果今年のモーリンググループ社員旅行は沖縄に決定する事が出来ました。この事が私の中でとても良い経験になったと思います。今回の経験をこれから活かしていけたらと思っています。

編集後記